



P7 » 特集

収益基盤の確立  
EC事業の拡大  
積極的な新規事業開発  
経営基盤の構築

# 株主通信

第58期 報告書 2019.1.1 ▶ 2019.12.31

株式会社 ルックホールディングス

# Brand Information ブランドのご紹介



## marimekko

マリメッコ

インテリア、ファッション、バッグと幅広いラインナップを扱うフィンランドのライフスタイルデザインブランド。



**BENSIMON**  
AUTOUR DU MONDE

ベンシモン

高感度のファッション、ホームインテリア、デザインを組み合わせたユニークなライフスタイルビジョンをベースとしたフランスのブランド。



## SCAPA

スキャパ

ファッション都市アントワープのブランド。上質で上品、タイムレスなファッションを提案。シルエットとスタイリングにこだわりを持って発信するブランド。



## A.P.C.

アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。

## lepetto

PARIS

レペット

1947年、ローズ レペットがバレエ用シューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



## KORET

コレット

自分自身のために時間を楽しむことができる、大人の女性をターゲットにしたコーディネートブランド。



**Alice and Olivia**  
Milosco bando

アリス アンド オリビア

デザイナー スティシー・ベンデットのパーソナリティとスタイルが凝縮されたライフスタイルブランド。



## KEITH

キース

フリディッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは自分らしさを常に意識する女性の為のブランド。



**IL BISONTE**

イル ビゾンテ

ワニー・ディ・フィリップがデザインするイタリア・フィレンツェのバッグ&皮革製品のブランド。

**IL BISONTE**  
UOMO

イル ビゾンテ ウォモ

イル ビゾンテのメンズコレクション。

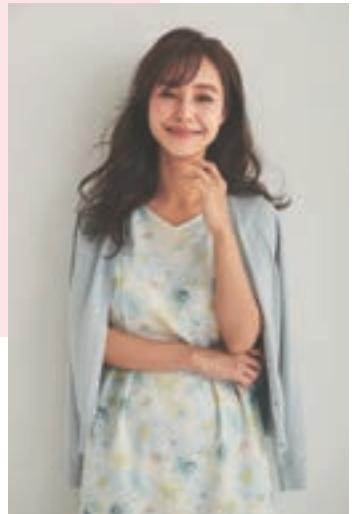
## LAISSÉ PASSÉ

レッセ・パッセ

「上品、可愛いものが好き」のDNAを持ちつつも世の中のトレンドも大人可愛く取り入れたい! そんな女の子達の気持ちを満足させるアイテムをシーンごとに展開していきます。



## Début de Fiore



デビュー・ド・フィオレ

上品で女性らしいスタイリングをメインテーマに、程良いトレンド感をプラスして働く女性の様々なシーンを演出します。



代表取締役社長 多田 和洋

### ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第58期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）における事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 当期の事業環境と業績の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、高い企業収益や雇用情勢の改善は見られるものの、海外情勢の不確実性や、頻発した自然災害や天候不順の影響により、製造業を中心に企業の業況判断は慎重さを増しており、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、お客さまのライフスタイルの多様化に伴う消費行動の変化に加え、消費増税後の消費マインドの低下など、衣料品に対する消費者の節約志向は依然として強く、総じて厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは2023年を最終年度とする中期経営計画を策定し、基本政策として掲げる「収益基盤の確立」、「EC事業の拡大」、「積極的な新規事業開発」、「経営基盤の構築」に取り組んでまいりました。7月1日には、当社グループの最大規模の収益事業であるイルビゾンテ事業の長期的、安定的な事業の実現のため、「イル ビゾンテ」をグローバル

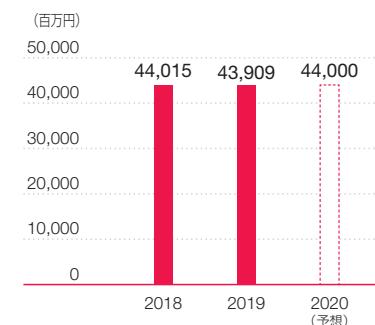
に展開するIl Bisonte S.p.A.を傘下に持つBisonte Italia Holding S.r.l.の全持分を取得しました。また、10月には本社移転を実施し、国内グループ会社を本社に集結することにより経営効率の向上を図り、当社グループの持続的な成長に取り組んでまいりました。

これらの結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は439億9百万円（前年同期比0.2%減）となりました。また、売上高及び売上総利益の減少に対し、販売費及び一般管理費の低減を行いましたが、Bisonte Italia Holding S.r.l.の完全子会社化に伴い期初には予定していなかった持分取得時のアドバイザー費用など一時的な取得関連費用3億2千8百万円の発生などにより、営業利益は16億4千2百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益は17億6千5百万円（前年同期比3.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は19億5千3百万円（前年同期比9.8%減）という結果で終了いたしました。

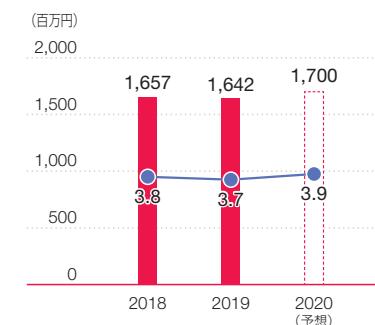
### 財務ハイライト(連結)

	当期の業績
売上高	439億 9百万円（前年同期比 0.2%減）
営業利益	16億 42百万円（前年同期比 0.9%減）
経常利益	17億 65百万円（前年同期比 3.1%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	19億 53百万円（前年同期比 9.8%減）

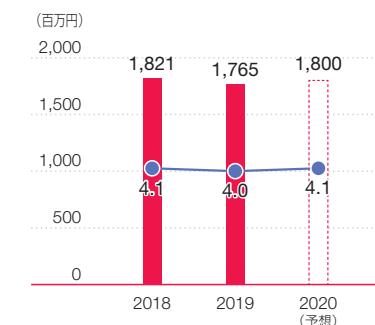
■売上高



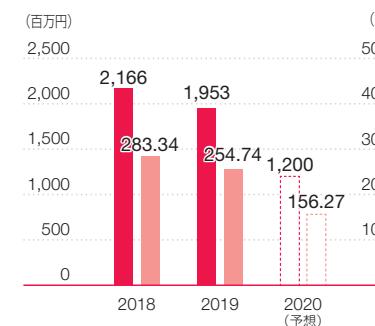
■営業利益 ●営業利益率



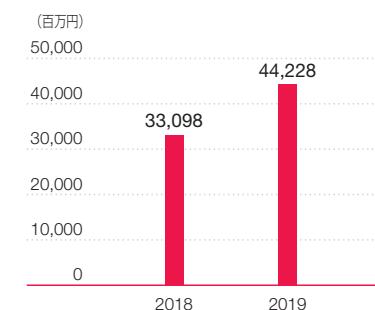
■経常利益 ●経常利益率



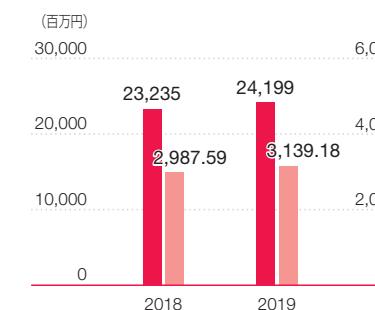
■親会社株主に帰属する当期純利益  
■1株当たり当期純利益\*



■総資産



■純資産 ■1株当たり純資産\*



\* 2018年7月1日付で行った株式併合(5株を1株)の影響を考慮して換算しています。

## セグメント別業績の概況

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

### アパレル関連事業

#### 日本

売上高 **252億28百万円**  
(前年同期比 7.5% 減)  
営業利益 **10億73百万円**  
(前年同期比 3.0% 増)



既存事業では全般的に厳しい販売状況となりましたが、中核事業会社の株式会社ルックが展開する「イル ビゾンテ」は堅調に推移いたしました。新規事業では、ポルトガルのボディーケア&フレグランスブランド「クラウドス ポルト」など、当社グループの掲げる「衣食住+美」の価値提供に寄与する魅力あるブランド開発を進めてまいりました。また、会員向けポイントサービス「ルックメンバーシップ」の対象店舗について、これまでの直営店に加え百貨店インショップへ拡大するなど、更なるお客さまの利便性向上に努めた結果、会員数が50万人を超えました。

#### 欧州

売上高 **21億86百万円**  
営業利益 **2億49百万円**



「欧州」につきましては、当期より連結子会社となりましたIl Bisonte S.p.A.において、バッグや財布などの雑貨を中心とした皮革製品をイタリア国内外へ卸売販売を行う他、イタリア国内やフランスなどの欧州の直営店舗において販売を行ってまいりました。

#### 韓国

売上高 **167億62百万円**  
(前年同期比 5.0% 増)  
営業利益 **10億92百万円**  
(前年同期比 35.2% 増)



「韓国」につきましては、株式会社アイディールクにおいて、「サンドロ」「マージュ」などインポートブランドを中心に売上が引き続き好調に推移したことに加え、自社サイト「I.D.LOOK モール」を中心にオンライン売上も大幅に伸長し、売上高が増加いたしました。また、株式会社アイディージョイにおいては、不採算店舗の撤退を進める一方、百貨店への新規出店を推し進め、売上高が増加いたしました。

#### その他海外

売上高 **4億7百万円**  
(前年同期比 75.8% 増)  
営業損失 **45百万円**  
(前年同期は16百万円の営業利益)



「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)や洛格(上海)商貿有限公司の売上は順調に推移しましたが、7月1日より連結子会社となりましたIl Bisonte S.p.A.の米国、香港の子会社においては、直営店舗の新規オープンに伴う広告宣伝費用などの先行投資により、営業損失を計上しました。

### 生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ外のOEM生産が増加したことにより、売上高が前年同期を上回りました。その結果、売上高は28億3千2百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は3千万円(前年同期比3.4%減)となりました。



### 物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、2020年1月の物流拠点の移転に向けて、年末の検品業務の一部を年初に延期した影響等もあり、売上高は10億5千万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は人件費の増加等により、1千2百万円(前年同期比49.3%減)となりました。



### 飲食事業

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、展開店舗数の減少により売上高が前年同期を下回りました。その結果、売上高は5千9百万円(前年同期比38.7%減)、営業損失は2千4百万円(前年同期は4千1百万円の営業損失)となりました。



## 次期の見通し

### 業績予想(連結)

売上高	440億円	(前年同期比 0.2% 増)
営業利益	17億円	(前年同期比 3.5% 増)
経常利益	18億円	(前年同期比 2.0% 増)
親会社株主に帰属する当期純利益	12億円	(前年同期比 38.6% 減)

2020年度のわが国経済の見通しにつきましては、政府による経済政策等を背景に緩やかな回復基調で推移していくことが期待されるものの、個人消費においては節約志向が依然として強く、海外においても米中の通商問題や新型コロナウイルスの影響等により世界経済の減速が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況において、当社グループは、2023年を最終年度とする中期経営計画に基づき、以下の4つの基本政策に取り組んでまいります。

1. 「収益基盤の確立」
2. 「EC事業の拡大」
3. 「積極的な新規事業開発」
4. 「経営基盤の構築」

「収益基盤の確立」では、2019年7月にイタリア・フィレンツェの皮革製品ブランド「イル ビゾンテ」をグローバルに展開するIl Bisonte S.p.A.を傘下に持つBisonte Italia Holding S.r.l.を完全子会社化したことにより、当社グループ最大規模の収益事業であるイルビゾンテ事業の長期的、安定的な事業実現に努めてまいります。また、韓国の株式会社アイディールクでは引き続き主力インポートブランドを中心とした既存

事業の拡大に取り組めます。

「EC事業の拡大」では、物流拠点の移転を機にECの物流機能を内製化し、より効率的な運営に努めてまいります。また、よりお客さまのニーズにあった当社EC独自の商品・サービスの開発により、お客さま満足の継続的な向上に取り組んでまいります。海外においては、韓国での自社Eコマースサイトの更なる拡充を実行してまいります。これらにより2023年度のグループEC売上高70億円を目指してまいります。

「新規事業開発」では、ポルトガルのボディーケア&フレグランスブランド「クラウドス ポルト」の店舗展開を開始するほか、引き続き国内、海外ともに「衣食住+美」の価値提供に寄与するブランド、事業開発に積極的に取り組んでまいります。また、韓国の株式会社アイディールクでは、新たなブランドの開発を進め、更なる事業拡大に努めてまいります。

「経営基盤の構築」では、経営理念である「お客さま第一主義」をさらに浸透させ、新しいライフスタイルや価値の創造を通じて、お客さまの満足を追求し、生活文化の向上に貢献していくとともに、創造性豊かな人材を育成し、魅力あるブランド価値を共創してまいります。

## 次期の配当について

当社グループでは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、財務体質の強化、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2020年12月期の配当(予想)につきましては、上記の方針に沿って1株当たり30円を予定しております。

## 収益基盤の確立

さらなる安定的な収益構造の確立へ向け新規出店を推進



「イルビゾンテ」  
2019年3月に大宮ルミネ店  
を新たにOPENしました。



大宮ルミネ店



渋谷店

### marimekko

「マリメッコ」  
2019年11月に渋谷店を新たにOPENしました。

### A.P.C.

「アー・ペー・セー」  
2019年11月に渋谷パルコ店を新たにOPEN  
しました。



渋谷パルコ店

### 海外展開

株式会社アイディールックにおいて、「サンドロ」や「マー  
ジュ」の売上拡大策を推進いたしました。

sandro  
[サンドロ]



現代弥阿店

maje  
[マーシュ]



新世界議政府店

## EC事業の拡大

お客さま満足の継続的な追求によるEC売上の拡大

2016年よりスタートした会員サービスプログラムである「ルックメンバーシップ」の対象店舗は250店舗を超え、会員数も50万人を突破いたしました。今後もサービス対象店舗及びサービス内容の拡充を行い、お客さま満足へと繋げて参ります。

ルックグループでは、お客さまの利便性向上を目的にモバイルファーストへの取り組みを進めており、2019年には、「ルックメンバーシップ」、「A.P.C.」のアプリをスタートいたしました。

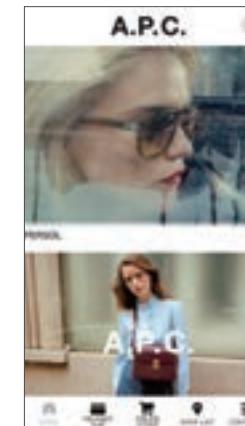
また、店舗とECの在庫の連携を進め、お客さまの購入しやすい環境の整備を進めるのに加えて、デジタルマーケティング施策の着実な実行によりECだけでなく店舗も含めて、お客さまの来店を促す取り組みを行っております。



ルックメンバーシップ  
公式アプリ



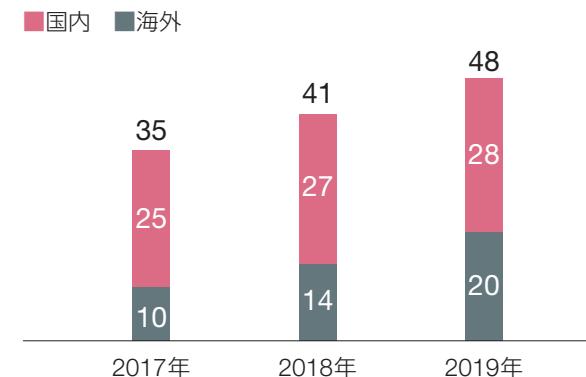
A.P.C.  
公式アプリ



2019年EC売上の状況 (単位：億円)

EC売上	2019年12月期	前年同期比
国内	28	103%
海外	20	142%
グループ計	48	116%

EC売上推移 (単位：億円)



## 積極的な新規事業開発

### M&Aによる新規海外事業の開発

株式会社ルックホールディングスは、2019年7月にイタリアの Bisonte Italia Holding S.r.l.(ビゾンテ・イタリア・ホールディング)の全持分を取得し、完全子会社化いたしました。

国内主力事業であるイルビゾンテ事業の長期的、安定的な運営及び、グローバルマーケットへの事業拡大を目的として、当社としては過去最大規模のM&Aを実施いたしました。

日本事業で培ったノウハウを活かし、国内の事業だけでなく、グローバルな視点で事業の拡大に取り組んで参ります。



ミラノ店

### 「衣食住+美」の価値提供に寄与する魅力のある新規ブランドの開発

#### CLAUS PORTO



株式会社ルックでは、2019年秋冬シーズンより、ボディケア&フレグランスブランド「CLAUS PORTO(クラウス ポルト)」の取り扱いをスタートしました。

「CLAUS PORTO(クラウス ポルト)」は1887年にスタートしたブランドで、創業地のポルトガルの美しく歴史ある街や風景からインスピレーションを得たソープ、コロンの先進的なデザインと伝統的な製法を守り作られた製品は、現在世界50か国以上の店舗にて販売されています。

#### Marimekko Kioski

株式会社ルックが展開するマリメッコの新ライン「Marimekko Kioski(マリメッコ キオスキ)」を2019年8月に全世界に先駆け発売いたしました。

「Marimekko Kioski(マリメッコ キオスキ)」は、マリメッコのアイコン的な色やプリントを再解釈した新コンセプトのストリートウェアコレクションで、性差にとらわれないワードローブを「クリエイティビティ」をキーワードに展開しております。



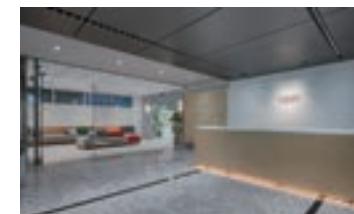
ドーバー ストリート マーケット キンザ (期間限定ストア)

## 経営基盤の構築

### グループ本社の移転・集約

ルックグループは、2019年10月に本社機能の強化及び経営の効率化を目的に、本社及びグループの拠点を赤坂に移転・集約いたしました。

新本社では、お客さまに快適にお過ごしいただけるようプレスルームや商談スペースも整備いたしました。国内グループ会社の拠点を集約し、別々のオフィスにいた社員が一堂に会することで新たなコミュニケーションが生まれ、グループ内で新たな価値を共創できるよう取り組んで参ります。



1F受付



1F商談スペース



2F食堂



新本社ビル

### エル・ロジスティクス 商品センター移転

株式会社エル・ロジスティクスは2020年1月に商品センターを習志野から船橋へと移転いたしました。

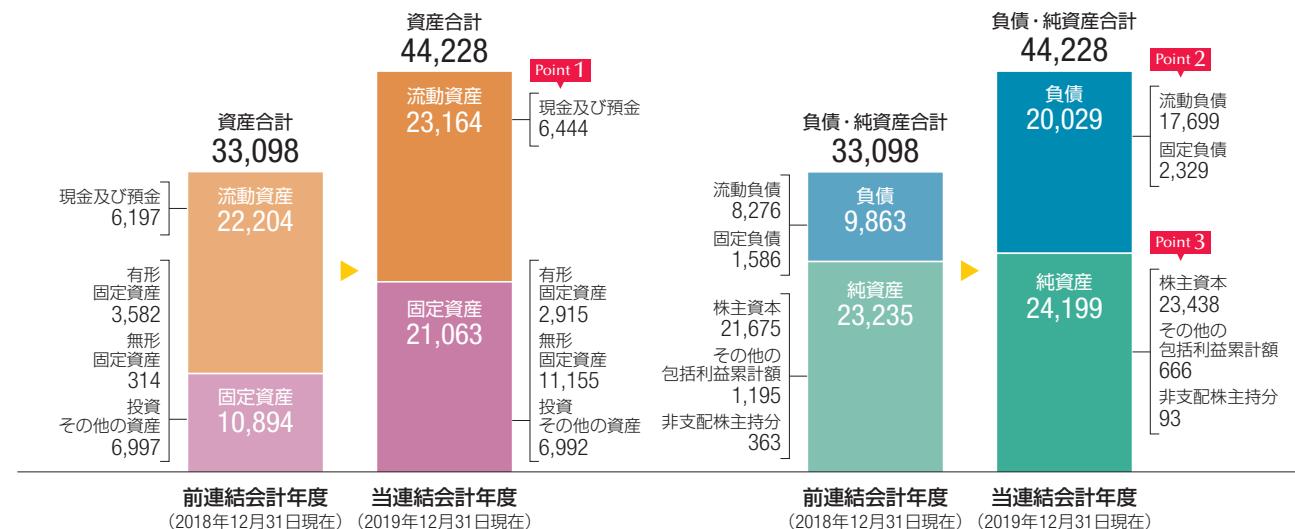
最新鋭の設備を備えた物流倉庫(MFLP船橋II)に移転することで、物流業務の更なる効率化と、EC事業拡大に向けたEC物流事業内製化による更なる物流サービスの向上及び機能強化を目的としています。



MFLP船橋II

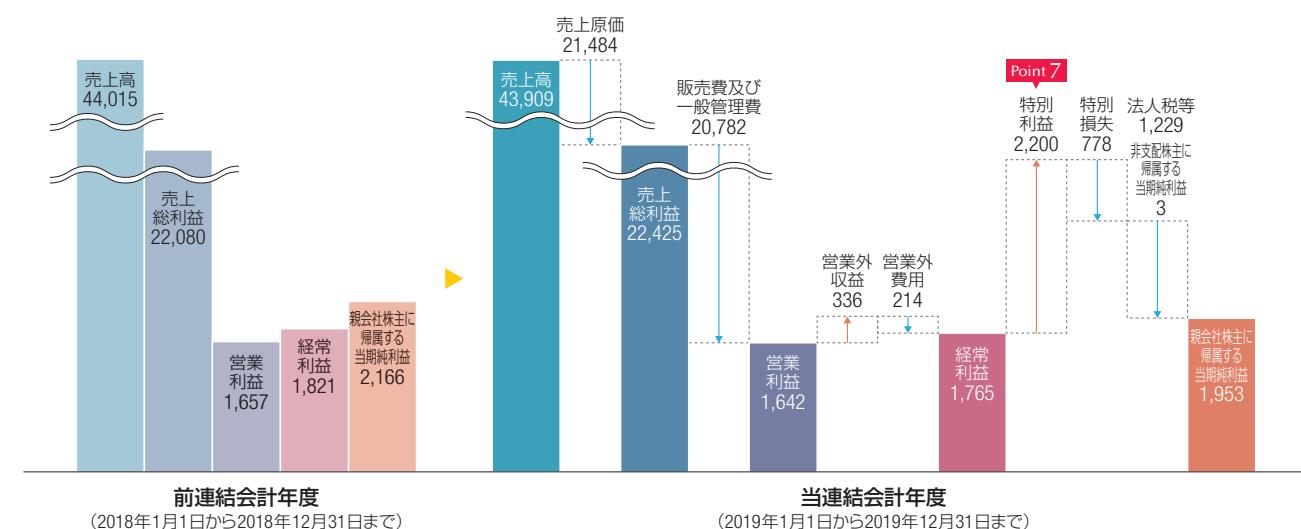
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



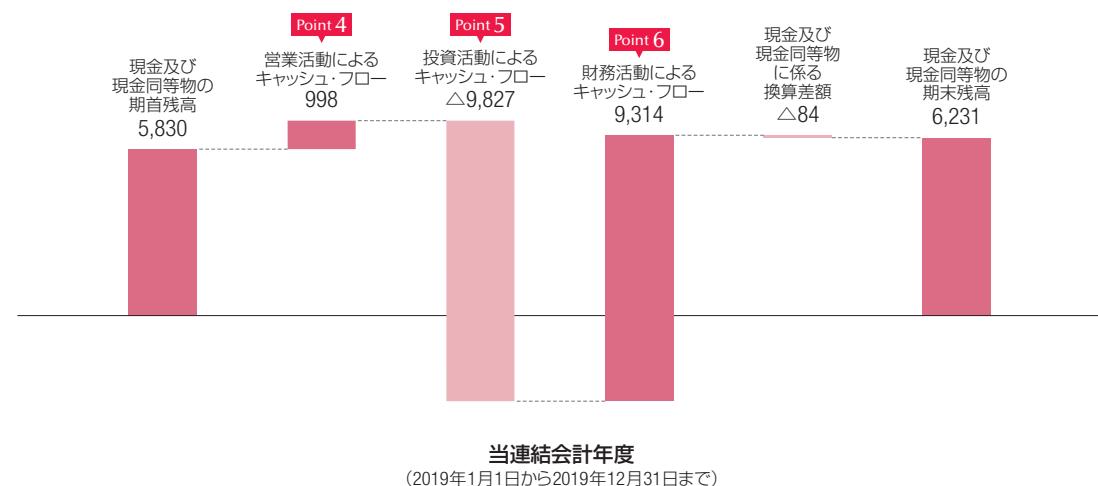
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



- Point 1 資産の部**  
Bisonte Italia Holding S.r.l.の持分取得によるのれんが増加したことなどにより、111億2千9百万円増加しました。
- Point 2 負債の部**  
Bisonte Italia Holding S.r.l.の持分取得資金として借入金が増加したことなどにより、101億6千5百万円増加しました。
- Point 3 純資産の部**  
為替換算調整勘定の減少がありましたが、利益剰余金の増加などにより9億6千4百万円増加しました。
- Point 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**  
税金等調整前当期純利益は31億8千6百万円となり、増加要因として売上債権の減少2億7千1百万円、非資金項目である減価償却費8億8千7百万円など、減少要因として仕入債務の減少6億2千8百万円、法人税の支払額5億9千6百万円、特別損益の調整項目である固定資産売却損益20億9千3百万円などにより、9億9千8百万円の収入となりました。
- Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
旧日本の土地・建物など有形固定資産の売却による収入33億4千1百万円がありましたが、Bisonte Italia Holding S.r.l.の持分の取得による支出116億6千万円などにより、98億2千7百万円の支出となりました。
- Point 6 財務活動によるキャッシュ・フロー**  
配当金の支払額2億2千8百万円などの支出がありましたが、借入金の純増額98億4千5百万円などにより、93億1千4百万円の収入となりました。
- Point 7 特別利益及び特別損失**  
旧日本土地建物の売却益20億9千3百万円など特別利益22億円、本社機能の強化及び経営の効率化を目的に本社及びグループ拠点を移転集約した費用5億3千万円など特別損失7億7千8百万円を計上いたしました。

会社の概要

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	63億7,487万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	1,554名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2020年3月27日現在

アパレル関連事業

日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社 株式会社レッセ・パッセ
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージョイ
欧州及び その他海外	ルック(H.K.)Ltd. 洛格(上海)商貿有限公司 Bisonte Italia Holding S.r.l. Il Bisonte S.p.A.
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物流事業	株式会社エル・ロジスティクス
飲食事業	株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナル

(注)株式会社レッセ・パッセは、2020年4月1日に株式会社ルックを存続会社として、吸収合併予定であります。

役員構成

2020年3月27日現在

代表取締役社長	多田 和洋
常務取締役	澁谷 治男
取締役	斉藤 正明
取締役	福地 和彦
取締役	井上 和則
常勤監査役	佐藤 正男
常勤監査役	高山 英二
監査役	山崎 暢久
監査役	服部 滋多

(注)1. 取締役 福地和彦および井上和則の両氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 山崎暢久および服部滋多の両氏は、社外監査役であります。  
3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

株式情報

2019年12月31日現在

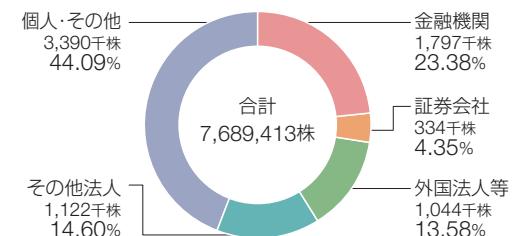
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,689,413株
株主数	5,277名

大株主

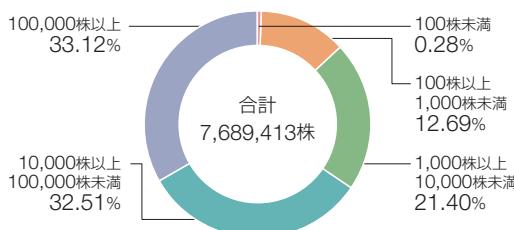
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	700	9.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	573	7.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	281	3.66
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	210	2.74
住友生命保険相互会社	154	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	137	1.79
株式会社三越伊勢丹	134	1.75
株式会社三井住友銀行	130	1.70
ルックホールディングス従業員持株会	115	1.51
顕川 欽和	108	1.42

(注)持株比率は、自己株式(10,367株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数比率)



所有株数別状況(株式数比率)



\*自己株式10,367株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「1万株以上」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。  
<https://www.look-holdings.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

## 最新ブランドニュースなど多彩な情報が満載

ブランドインデックス、その他各種イベント・新作情報・ニュース、会社案内など最新情報をお届けしています。



<https://www.look-holdings.jp>

### IR情報

<https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を掲載していますので、ぜひ一度当社のIRページをご覧ください。



### ルックがお届けするファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」 **LOOK@E-SHOP**

お客様のライフスタイルに合わせ、パソコンやスマートフォンなどからいつでもショッピングをお楽しみいただけます。

▼QRコード



<https://www.e-look.jp>

## 株主優待制度のご案内

### (1)対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

### (2)株主優待の内容

当社オンラインショップ「LOOK@E-SHOP(ルックアットイーショップ)」(<https://www.e-look.jp>)において、取扱商品を次のとおりご所有の株式数に応じて販売価格から割引でご購入いただけます。

保有株式数	優待内容
100株以上 400株未満	2,000円の株主優待割引券を贈呈
400株以上	4,000円の株主優待割引券を贈呈

